(19)日本国特許庁(JP)　(12)公開特許公報(A)　(11)特許出願公開番号
特開2005-58613
(P2005-58613A)
(43)公開日　平成17年3月10日(2005.3.10)

(51)Int.Cl.[7]	F I			テーマコード（参考）
A63F 7/02	A63F	7/02	326D	2C088
	A63F	7/02	304D	

審査請求 未請求　請求項の数 3　OL　（全 9 頁）

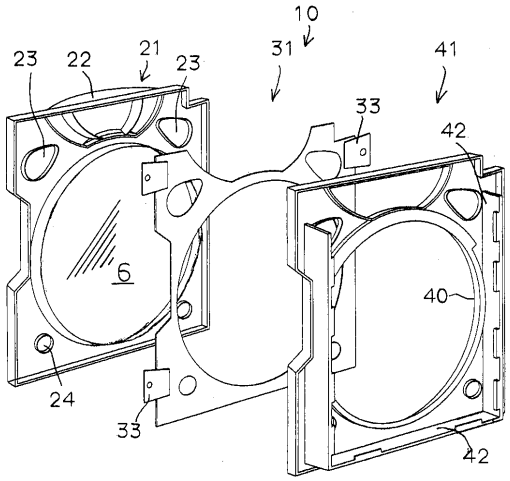
(21)出願番号　特願2003-295442(P2003-295442)
(22)出願日　平成15年8月19日(2003.8.19)

(71)出願人　300007442
株式会社大和製作所
愛知県名古屋市西区中小田井四丁目４１１番地
(71)出願人　597130144
株式会社バイザック
愛知県名古屋市西区中小田井４丁目４１１
(72)発明者　西川　基守
愛知県名古屋市西区中小田井四丁目４１１番地株式会社大和製作所内
(72)発明者　寺澤　紀一
愛知県名古屋市西区中小田井四丁目４１１番地株式会社大和製作所内

最終頁に続く

(54)【発明の名称】パチンコ機

(57)【要約】
【課題】
窓体が透明樹脂体で形成されて壊れる問題がなく安全で、ガラス板に比べて軽量化されて取扱いが容易で、更に前面扉の装飾意匠性が非常によく、簡単に綺麗に表示でき、図柄意匠の交換作業も容易で、リサイクル性にも優れた前面扉を備えるパチンコ機を提供する。
【解決手段】
パチンコ機遊技盤の前面に、パチンコ機の前面を形成し開閉可能で遊技盤を見る窓に設けた前面扉を持つパチンコ機において、
前記前面扉１０は、前面扉の前面側に遊技盤を見る窓体６と該窓体の周囲に窓枠体２１とを、外側から内側が透けて見える樹脂材料で一体形成し、該窓枠体２１の裏面に前面扉の図柄意匠を表示する図柄意匠シート３１を装着したパチンコ機で、パチンコ機の正面を形成する前面扉１０の前面は図柄意匠シート３１が表示される。
【選択図】　図２



【特許請求の範囲】
【請求項１】
パチンコ機遊技盤の前面に、パチンコ機の前面を形成し開閉可能で遊技盤を見る窓に設けた前面扉を持つパチンコ機において、
前記前面扉は、前面扉の前面側に遊技盤を見る窓体と該窓体の周囲に窓枠体とを、外側から内側が透けて見える樹脂材料で一体形成し、該窓枠体の裏面に前面扉の図柄意匠を表示する図柄意匠シートを装着したことを特徴とするパチンコ機。
【請求項２】
前記遊技盤を見る窓体と窓体周囲の窓枠体とを形成する樹脂材料は、無色透明ないし有色透明な樹脂材料からなることを特徴とする請求項１記載のパチンコ機。
【請求項３】
前記図柄意匠シートは、不透明な紙、樹脂、布製シートからなり、各種図柄意匠が表示されたものであることを特徴とする請求項１乃至２記載のパチンコ機。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本発明は、遊技盤の遊技領域に遊技球を発射し遊技領域にある入賞口への入賞によって所定の賞球払出しが行われるパチンコ機に関し、さらに詳しくは、パチンコ機遊技盤の前面で開閉可能に設けられた前面扉に関する。
【背景技術】
【０００２】
従来、パチンコ機前面中央部の遊技盤には、遊技球が流下する遊技領域が設けられており、遊技領域の前方にはガラス板２枚を装着した前面扉が開閉自在に配置されている。２枚のガラス板は磁石等による不正防止のため間隔を空けて前面扉の裏面に設けたガラス枠体に支持されている。ガラス枠体はその前面の窓枠体と一体に組付けられて前面扉を形成している。遊技者が注視する遊技盤については、通常ベニヤ板に所望の図柄、模様を画いたセル板を貼着し、各種盤面部品が装着されている。
【０００３】
従来、図３、図４に示すように特開平１１-１９３０７号公報では、この種のパチンコ機において、遊技盤を臨むように配置された中央の無色透明な窓部５１と、遊技球放出表示及び球切れ表示ランプの透光性を有するカバー部５２と、前記窓部５１の周囲に配置された飾りランプの透光性を有するカバー部５３と、上皿、下皿、及び遊技球発射ハンドルを取り付ける取り付け面５４と、前記窓部に一定間隔を置いて対向して配置されるガラス板６０を取り付けるための支持枠部５６とを合成樹脂により一体成形し、部品数を減らし組み立て工数の低減を図る発明がなされている。尚、５８は景品球払出し穴で、５９は下皿への排出穴で、６１は発射ハンドル軸穴、５５は鍵取り付け穴である。
【０００４】
またこれら従来技術の前面扉５０について、即ち前面扉５０の前面部品については、合成樹脂を射出成形して形成され、特にパチンコ機の前面に位置するパチンコ機正面の顔に当たるため、遊技盤の図柄に関連した図柄意匠ないし配色が施される。
このパチンコ機正面の図柄意匠については、パチンコ機の特徴となる図柄を描いた糊付シートを前面扉の前面に貼り付ける方法が行なわれている。この方法は、扉前面の貼付け部にシートの大きさの窪みを設け、この窪みに貼着位置の基準面として貼着し、また窪みによって貼付け後の剥がれ防止としている。
また前記前面扉、即ち窓枠体を射出成形する樹脂自体にカラー樹脂を用いて成形したり、或いは窓枠体の前面又は裏面に特殊塗装を施してパチンコ機の前面を演出している。
【０００５】
本願出願の先行技術文献として次のものがある。
【特許文献１】特開平１１－１９３０７号公報
【特許文献２】特開２００１－１７０３１７

【特許文献３】特開２０００－７０５０４
【発明の開示】
【発明が解決しようとする課題】
【０００６】
前者の従来技術では、パチンコ機を形成する前面全体を合成樹脂で一体成形するため、射出成形用金型が大型化し、大きな射出成形機を必要とし、成形時間が長くなって、成形作業が難しくなり、反ってコストUPにつながる問題があった。
またパチンコ機の前面を演出するものとして、前面扉の前面に塗装する方法は使用中に塗装が剥がれると醜くくなり、また多色印刷したポリカーボネイト樹脂製シートを前面扉成形用金型に装着して射出成形する方法は、作業者が成形機に就いて作業しなければならず、自動成形ができないので手間がかかり、困難な作業であった。
【０００７】
この対策として前面扉の窓枠体を透明樹脂で設け、この窓枠体の裏面にカラー塗装を施して前面から塗装面が視認出来るようにしている。
しかし合成樹脂成形品にカラー塗装を施すのは非常に困難で、密着性を向上させるために塗装裏面に梨地加工等を施すと前面側からの見栄えが悪くなり、非常に困難な作業であった。また装飾意匠性を考慮した図柄模様に塗装するのは実質不可能で、また多色の塗装も不可能で、通常単色カラー塗装しか行なうのが困難な状態であった。また一旦カラー塗装処理した窓枠体について、再利用のために配色を変えるのは品質上の問題から不可能で、リサイクルが困難なものであった。
【０００８】
本発明はこのような従来技術の問題点を解消するパチンコ機を提供するものであって、その目的は、窓体が透明樹脂体で形成されて壊れる問題がなく安全で、ガラス板に比べて軽量化されて取扱いが容易で、更に前面扉の装飾意匠性が非常によく、簡単に綺麗に表示でき、図柄意匠の交換作業も容易で、リサイクル性にも優れた前面扉を備えるパチンコ機を提供する。
【課題を解決するための手段】
【０００９】
本発明の請求項１の発明は、パチンコ機遊技盤の前面に、パチンコ機の前面を形成し開閉可能で遊技盤を見る窓に設けた前面扉を持つパチンコ機において、
前記前面扉は、前面扉の前面側に遊技盤を見る窓体と該窓体の周囲に窓枠体とを外側から内側が透けて見える樹脂材料で一体形成し、該窓枠体の裏面に前面扉の図柄意匠を表示する図柄意匠シートを装着したことを特徴とするパチンコ機である。
【００１０】
本発明は上記の構成であって、窓体と窓枠体はいわゆる透けて見える樹脂材料で形成されており、この透明樹脂材料で遊技盤を見る前面の窓体が形成されるから、ガラス板のように容易に割れないから安全が図られ、また軽量で取り扱いが容易になる。
また窓枠体の裏面に図柄意匠シートが装着されており、窓枠体の前面即ち前面扉の前面から図柄意匠シートの図柄意匠が視認されパチンコ機の前面図柄意匠として表示される。この図柄意匠シートは例えば印刷容易な紙でも可能で、細かい各種カラーで表示されたキャラクターや、また写真画像なども自由に前面扉の前面に表示させる事ができる。
また中央部遊技盤の図柄意匠に連動して周囲の窓枠体の図柄意匠を表示させることが出来、従来の遊技盤のみの大きさの表示から窓枠体も含めた大きさの図柄意匠表示が行なえ、パチンコ機としての遊技者に与えるインパクト、迫力が大きく得られる。
更にこの前面扉の図柄意匠表示は、窓枠体裏面の意匠シートを交換するだけで、所望の図柄意匠の前面扉に形成できるため、従来のように異なる図柄意匠の別の前面扉と交換する必要がなく、容易にイメージが異なる、遊技者に新鮮な感じを与えるパチンコ機が設けられる。
【００１１】
また前面扉は、前記窓枠体の裏面に図柄意匠シートを装着し、その裏面にガラス枠体を

組付けて、窓枠体とガラス枠体で前記図柄意匠シートを狭着して前面扉が形成される。
図柄意匠シートは外側から内側が透けて見える透明材料の窓枠体に装着され、図柄意匠シートは裏面からガラス枠体で狭着して組付け保持され、また別の図柄意匠シート押さえ部品を設けて窓枠体の裏面に保持されても良く、また裏面のガラス枠体に図柄意匠シートが貼付られこのガラス枠体を窓枠体に組付けて窓枠体裏面に図柄意匠シートが狭着されてもよく、また窓枠体図柄意匠装着部の隅角部に小突起を突出して設けこの小突起で図柄意匠シートが保持されるようにしてもよい。

【００１２】

本発明の請求項２の発明は、前記遊技盤を見る窓体と窓体周囲の窓枠体とを形成する樹脂材料は、無色透明ないし有色透明な樹脂材料からなることを特徴とするパチンコ機である。

【００１３】

例えば窓体と窓枠体をクリアな無色透明な樹脂材料で形成することができ、遊技者は遊技盤をクリアな透明樹脂版を通してみることが出来、また図柄意匠シートは図柄意匠通りの状態で前面に表示される。
また窓体と窓枠体を成形する樹脂成形材料に各種カラーが入った透けて見える樹脂材料を用いて形成することもでき、この場合は、このカラー透明樹脂板を通して遊技盤を見ると共に図柄意匠シートの図柄がカラー表示される。

【００１４】

本発明の請求項３の発明は、前記図柄意匠シートは、不透明な紙、樹脂、布製シートからなり、各種図柄意匠が表示されたものであることを特徴とするパチンコ機である。

【００１５】

図柄意匠シートは、印刷容易な紙や樹脂製のシートであってもよく、また自然の布生地を表示してもよく、図柄が織り込まれた布生地を表示するようにしてもよく、更にまた、印刷カラー表示に夜光塗料など特殊なインクで表示したものを用いて、実際の使用される環境での照明具合に応じてカラー表示が変化する様に設けてもよい。これによって、これまでにない変化に富んだパチンコ機の前面表示が行えるものである。

【発明の効果】

【００１６】

本発明の効果は、窓体と窓枠体はいわゆる透けて見える樹脂材料で形成されており、この透明樹脂材料は通常、ガラス板のように容易に割れないから安全が図られる。またガラス板に比べて軽量で取り扱い容易な前面扉に形成でき、安全なパチンコ機にできる。
また窓枠体の前面即ち前面扉の前面から裏面に装着した図柄意匠シートの図柄意匠を視認できる。この図柄意匠シートは前面が透明な窓枠体であるから使用中に剥がれることがなく、また図柄意匠シートを交換するだけで前面扉の図柄を容易に替えることができる。更にシートは印刷容易な紙でよいから、これまで単色でしか表示できなかった前面扉の表示が、各種カラー表示することが出来、しかもカラーのキャラクターや写真画像などでも自由に表示させる事ができ、また中央部遊技盤の図柄意匠に連動して周囲の窓枠体の図柄意匠を表示させることが出来、従来の遊技盤のみの大きさの表示から窓枠体も含めた大きさの図柄意匠表示が行なえ、パチンコ機としての遊技者に大きなインパクト、迫力でもって、しかも容易に、しかも図柄シートの交換だけで新規図柄の前面扉に出来るのでリサイクル性も非常に容易なものである。従って、従来のように、異なる図柄意匠の前面扉と交換せずとも、常に新鮮な感じで表現できるパチンコ機が非常に容易に設けられる。

【００１７】

窓枠体の裏面に保持する図柄意匠シートは、窓枠体の裏面に装着してあればよく、別体のシート押さえで窓枠体に保持でき、シート押さえの裏面にガラス板を保持するガラス枠体を窓枠体に固定してもよく、ガラス板を保持するガラス枠体で図柄意匠シートを窓枠体に狭着してもよく、ガラス枠体に図柄意匠シートを貼付けてこのガラス枠体を窓枠体に組み付けても良く、窓枠体の裏面にシートを係止する為の小突起を設けて図柄意匠シートを保持しても良い。

窓枠体は、クリアな無色透明の樹脂材料や、各種カラーでも透けて見える樹脂材料が用いられ、このカラー透明材料の窓枠体を通して窓枠体内部の図柄意匠シートが表示される。

図柄意匠シートは、印刷容易な紙や樹脂製のシートが用いられ、また布など自然の生地を表示するものであってもよく、更に木の葉や押し花なども用いることができるから、これまでにない変化に富んだパチンコ機の前面扉意匠表示が行えるものである。

【発明を実施するための最良の形態】

【００１８】

本発明の最良の形態は、パチンコ機遊技盤の前面に、パチンコ機の前面を形成し開閉可能で遊技盤を見る窓に設けた前面扉を持つパチンコ機において、

前記前面扉は、前面扉の前面側に遊技盤を見る窓体と該窓体の周囲に窓枠体とを、外側から内側が透けて見える樹脂材料で一体形成し、該窓枠体の裏面に前面扉の図柄意匠を表示する図柄意匠シートを装着したパチンコ機で、図柄意匠シートの裏面にガラス板を装着するガラス枠体が組み付けられる。図柄意匠シートは遊技盤の図柄に連動して多彩な図柄表示が可能である。

【実施例１】

【００１９】

以下、本発明の実施形態につき、図面に基づいて説明する。

図１は、パチンコ機１の前部を示す斜視図であって、パチンコ機１には、木製の外枠２があり、外枠２の左上に連結部３があり、左下に本体枠連結金具１６があり、中枠５が左上連結部３に、また左下の本体枠連結金具１６に枢着され、外枠２の左側縁に対して片開き自在に設けられている。中枠５に略四角形状の遊技盤（図示せず）やパチンコ機の内部機構（図示せず）が支持装着されている。

【００２０】

さらに、中枠５の前面であって、遊技盤７の前面にはポリカーボネイト樹脂で形成された略円形状のクリアな透明樹脂板で形成された窓体６を有す前面扉１０が左側の連結部３と連結金具４を軸に開閉自在に設けられている。前面扉１０の開口部後方は、遊技盤７及び遊技盤の遊技領域８がある。前面扉１０の下部には供給皿１２を備えた上受け皿１１が、また上受け皿１１の下部には貯留皿１４と灰皿１５とを備えた下受け皿１３が、左側の各連結金具に支持されて開閉自在に取り付けられている。外枠２の左側端に設けられているのはプリペイドカードユニット９である。

【００２１】

前面扉１０は、図２に示すように、一体成形されたポリカーボネイトのクリア透明樹脂で形成された前記窓体６を含む窓枠体２１と、窓枠体２１の裏面に装着した図柄意匠シート３１と、該図柄意匠シート３１の裏面で窓枠体２１に一体に組付けたガラス枠体４１とからなる。前面扉１０の大きさは、図１のごとく全体がパチンコ機の上半分程度で、ほぼ正方形状に形成されている。

図１、図２において、前面扉１０、即ち窓枠体２１の前面上部にランプ飾り２２が突出して設けてあり、このランプ飾り２２の両側に凸レンズで卵形状の飾り窓２３、２３が、また前面下部両側に円形の表示窓２４、２４が設けてある。上記の各ランプ飾り２２、飾り窓２３、表示窓２４には、それらの各後部にLEDランプや表示シールが装着されており、遊技状態の変化に応じて各窓のランプが点滅し、各窓２２、２３、２４の表示状態に応じてゲームの進行状態を遊技者に知らせるようになっている。

【００２２】

図２において、窓枠体２１の後面に図柄意匠シート３１が、上記透明な樹脂材料で形成された窓体６、各ランプ飾り２２、飾り窓２３、表示窓２４部分を除いて窓枠体２１の裏面に装着されている。図柄意匠シート３１は、表示側にパチンコ遊技機１の名称や遊技盤面の図柄・模様と関連する図柄・模様が描かれており、従来は単色でしか表現できない前面扉１０が、パチンコ機１の名称や遊技盤面の図柄・模様とも関連して、前面枠１０の窓枠体２１を含む全体がマッチングするようにカラーで表示された図柄意匠が、前面扉の表

側に表示される。

この図柄意匠シート３１は、印刷が容易で不透明な紙、樹脂、布製シート等が用いられる。不透明な紙や樹脂シートに印刷した場合は大量に安価に容易に図柄意匠３２を設けることが可能で、また図柄の変更も容易である。

更に図柄に夜光塗料などの特殊インキを用いることも可能で、照明によってカラーが変化する様に設けることも可能である。また印刷が施されてなく、例えば各種無地の布及び模様や柄が織り込まれた布、また自然の木の葉や花びら等も意匠シート３１として表示できる。

【００２３】

なお、図柄意匠シート３１は１枚でなく、例えば右半分と左半分のシートを組み合わせても良く、更にキャラクターなどの図柄を部分的に適宜位置に挟みこむことも可能で、図柄意匠シートがいっそう容易に効果的に設けることができる。

上記の図柄意匠シート３１の窓体６、ランプ飾り２２、飾り窓２３、表示窓２４部分はくり貫かれており、この部分は透明な窓枠体２１を通して遊技盤やランプ表示が見えるようにしてある。

この図柄意匠シート３１は、例えば意匠シート押え３３を用いて窓枠体２１の裏面に固定してもよく、また窓枠体２１に固定するガラス枠体４１で狭着し保持してもよい。また窓枠体２１にシート保持用の小突起を四隅に突出させ、この小突起で図柄意匠シート３１を係止し保持するようにしても良い。

【００２４】

裏面に固定するガラス枠体４１は、窓枠体２１より一回り小さいほぼ正方形の枠であって窓枠体２１の窓６とほぼ同寸の円形開口部４０を備え、また裏面に遊技盤７を覆うほぼ正方形ガラス板１枚を装着するガラス板挿入レール４２を両側部と低部に設けている。

このガラス枠体４１は通常樹脂製で、前部の窓枠体２１とビスや取り付け具で固定し又は窓枠体２１から突出す矢尻状の係止突起に嵌合し、窓枠体２１、前記図柄意匠シート３１と一体に固定される。裏面のガラス板挿入レール４２には、ほぼ正方形のガラス板が１枚挿入され、前面の窓体６と共に２枚の透明体を介して遊技盤が視認される。

【産業上の利用可能性】

【００２５】

パチンコ機であって、特に前面扉を有すパチンコ機に最適なものである。

【図面の簡単な説明】

【００２６】

【図１】本発明の一実施例を示すパチンコ機の正面を示す斜視図である。

【図２】本発明の一実施例を示すパチンコ機の前面扉の構成を示す斜視図である。

【図３】従来技術を示すパチンコ機の正面図である。

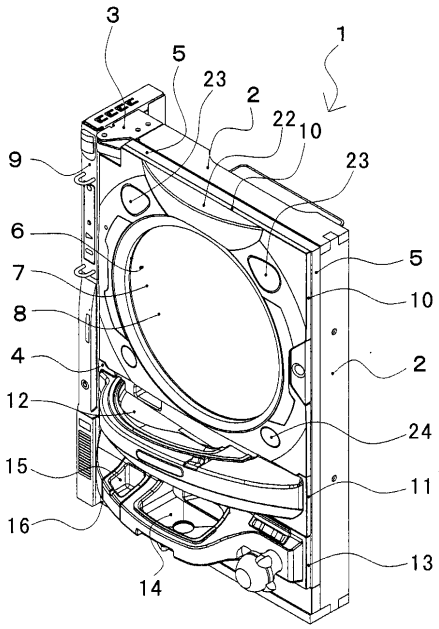
【図４】従来技術を示す図３のA-A線断面図である。

【符号の説明】

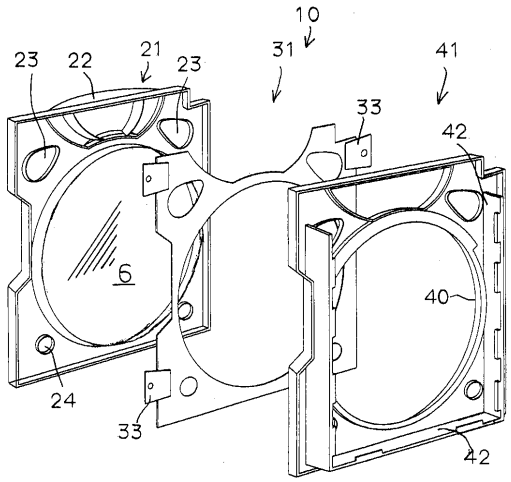
【００２７】

１　パチンコ機	２　外枠
３　連結部	４　連結金具
５　中枠	６　透明樹脂材料の窓体
７　遊技盤	８　遊技領域
９　プリペイドカードユニット	１０　前面扉
１１　上受け皿	１２　供給皿
１３　下受け皿	１４　貯留皿
１５　灰皿	１６　連結金具
２１　窓枠体	２２　ランプ飾り
２３　飾り窓	２４　表示窓
３１　図柄意匠シート	３３　シート押さえ
４１　ガラス枠体	４２　ガラスレール

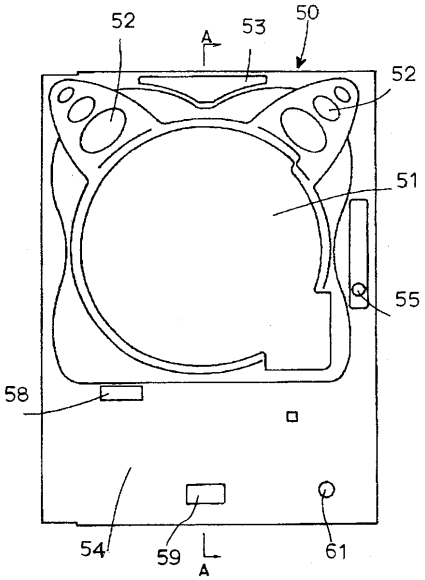
【図１】


3
5
23
2
22
10
1
9
23
6
5
7
10
8
2
4
12
24
15
11
16
13
14

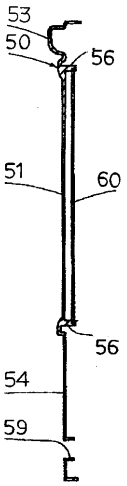
【図２】


10
23
22
21
23
31
41
33
42
6
40
24
33
42

【図３】



【図４】



フロントページの続き

(72)発明者　高柳　修
愛知県名古屋市西区中小田井四丁目４１１番地株式会社大和製作所内

Ｆターム(参考) 2C088 BC23 BC25 DA09 EA15